

全日本年金者組合
神奈川県本部
〒231-0025 横浜市中区不老町2-8不二ビル2F
TEL:045-663-4061 FAX:045-663-4062
メール:nenkinkanagawa@nifty.com

7月31日現勢 組合員 10,585人
機関紙 6,486部
100万署名 18,787部



年金権

保険料払い続けた年金

国の勝手な削減は憲法違反



加藤郁子
原告団長

命かけて“負けられない！”

原告2555人 横浜地裁に提訴

年金集団訴訟は、公的年金制度史上初めて、年金を削減した国を憲法違反として訴えました。

7月15日12時30分。横浜 全員で1千枚の「本日訴訟」のチラシを昼時13時。いよいよ提訴。動に集まった350人。のサラリーマンに撒きま

71人の大弁護団

神奈川年金訴訟弁護団

とも多い大弁護団となり71人という全国でもっとも

専任弁護士は、増本一彦団長、弁護団事務局長高橋由美、高橋宏、井上啓、志田一馨、星野文紀各弁護士です。



“70、80、まだ若い” 長生きサンバで提訴行動を盛り上げる (7/15横浜地裁前)

原告団役員▼団長・加藤郁子▼副団長・杉山彰雄、金井四朗、佐々木公生▼事務局長・杉澤隆宣▼事務局次長・青柳英夫、平井洋子

訴状の内容
年金訴訟は、2013年から3回実行された年金の削減は憲法違反だとして、「取り消し」と、原告1人1万円の損害賠償を求めています。

「健康で文化的な最低限度の生活」を保障する憲法25条「生存権」の侵害

年金削減の取り消し 1人1万円の損害賠償



提訴後の記者会見(中央が加藤郁子原告団長、右隣が増本一彦弁護団長)

「こんな提訴見たことない」とニコニコ話す弁護士。派手で元気な音が響き渡る明るい提訴行動となりました。

8月15日 植民地支配と侵略によって多くの国々とりわけアジア諸国の人々に対して多大な損害と苦痛を与えた太平洋戦争の終結から70年の節目を迎えました。

年7月26日に発せられた「ポツダム宣言」。日本政府が直ちに受諾してれば8月6日の広島8月9日の長崎の原爆の投下はなかった。

「真珠湾攻撃」をやめさせていたら...東京大空襲や沖縄の悲劇はなかった。

戦後70年間国民に根張った憲法

そして、もし日本が1945年5月ドイツと同時に降伏していたら...もし1943年12月「カイロ宣言」を実行していたら...もし1941年12月8日

告示

神奈川本部第二十七回定期大会を左記の通り開催します。

一、日時 九月二十九日(火) 午前十時より 二〇一五年七月三十一日

告示

神奈川本部第二十七回定期大会で二〇一五年度の役員選挙を左記の通り実施します。

- 一、役員定数
- 1、執行委員長 一人
- 2、副執行委員長 若千名
- 3、書記長 一人
- 二、立候補者を八月二十五日午前十時までに選挙管理委員会まで提出願います。
- 二〇一五年七月三十一日
- 選挙管理委員長 有賀慶介

共同所 秋の墓前祭

日時 10月23日(金)11時
場所 南葉山霊園

横浜地方裁判所前で「年金訴訟」参加者の

声・心・魂

全国の仲間と共に

全国の仲間3500人が原告として闘おうとしている中、自分もその一人として加わり共闘したいという思いで今日は参加した。
(大和・綾瀬支部 湯浅文雄)

待つていた裁判

提訴するまで長かったーやつとこれから始まる。の思いが強い。今日来られなかった人にも、支部新聞などで集会の様子を知らせ、継続的な応援行動をして行きましようー(金沢支部 黒田浩文)

黙つていては何も動かない

月一の地域での「年金者一揆」をして、今月で26回目を迎えました。今の政権には強い不満を持っています。黙つていては何も動かない、そんな思いに突き動かされ、行動しています。自分も原告と

感動し加入した

提訴行動に出てみて私より低い、10万円以下の人たちが立ち上がっているのを見て、

聞いて感動しました。私にできることなら、なんでも手伝います。今日加入しました。(緑支部 田所実)



地裁前で



専任弁護士



桜木町駅までパレード



原告結団式

して、仲間と共に闘う覚悟です。(港北支部 三浦マサ子)

よりよい生活の為に

原告団を応援に来ましたー少しでも年金者の生活がよくなり、弱者、高齢者を救う制度が出来て欲しいと思いが参加しました。(麻生支部 佐々木順子)

画期的な出来事

この裁判は画期的な出来事で、新聞、テレビでも放映されます。原告ではありませんが、気持ちは一緒です。マクロ経済スライド。こんな制度を許してはダメ。(厚木支部 今井義美)

箆笥古布生まれ変わる

初展示会 233人にビックリ

奈野

長年の念願であった地域での展示会を「古布あそび・はだの」を中心に女性の会で開催しました。箆笥の中で眠っていた古布を利用して、洋服、バックなどに作り変え展示したのですが、「色が合いが素敵ー」などの会話が弾み、地域の人と交流する貴重な体験ができました。5日間で233人の参加者がありびっくり。



2015年 第12回 ひとりで暮らしを楽しくして生きていく

さわやか女性のつどい

2015年10月30日(金) 12:00-16:00
 厚木市文化会館大ホール(中郡厚木町厚木)
 TEL:0463-81-1211(代) 予約:500円

記念講演 宝田明子
 我が闘争 戦乱の時代

30周年記念事業として、
 ①厚木市市民会館大ホールにて、
 ②厚木市市民会館大ホールにて、
 ③厚木市市民会館大ホールにて、
 ④厚木市市民会館大ホールにて、
 ⑤厚木市市民会館大ホールにて、
 ⑥厚木市市民会館大ホールにて、
 ⑦厚木市市民会館大ホールにて、
 ⑧厚木市市民会館大ホールにて、
 ⑨厚木市市民会館大ホールにて、
 ⑩厚木市市民会館大ホールにて、
 ⑪厚木市市民会館大ホールにて、
 ⑫厚木市市民会館大ホールにて、
 ⑬厚木市市民会館大ホールにて、
 ⑭厚木市市民会館大ホールにて、
 ⑮厚木市市民会館大ホールにて、
 ⑯厚木市市民会館大ホールにて、
 ⑰厚木市市民会館大ホールにて、
 ⑱厚木市市民会館大ホールにて、
 ⑲厚木市市民会館大ホールにて、
 ⑳厚木市市民会館大ホールにて、
 ㉑厚木市市民会館大ホールにて、
 ㉒厚木市市民会館大ホールにて、
 ㉓厚木市市民会館大ホールにて、
 ㉔厚木市市民会館大ホールにて、
 ㉕厚木市市民会館大ホールにて、
 ㉖厚木市市民会館大ホールにて、
 ㉗厚木市市民会館大ホールにて、
 ㉘厚木市市民会館大ホールにて、
 ㉙厚木市市民会館大ホールにて、
 ㉚厚木市市民会館大ホールにて、
 ㉛厚木市市民会館大ホールにて、
 ㉜厚木市市民会館大ホールにて、
 ㉝厚木市市民会館大ホールにて、
 ㉞厚木市市民会館大ホールにて、
 ㉟厚木市市民会館大ホールにて、
 ㊱厚木市市民会館大ホールにて、
 ㊲厚木市市民会館大ホールにて、
 ㊳厚木市市民会館大ホールにて、
 ㊴厚木市市民会館大ホールにて、
 ㊵厚木市市民会館大ホールにて、
 ㊶厚木市市民会館大ホールにて、
 ㊷厚木市市民会館大ホールにて、
 ㊸厚木市市民会館大ホールにて、
 ㊹厚木市市民会館大ホールにて、
 ㊺厚木市市民会館大ホールにて、
 ㊻厚木市市民会館大ホールにて、
 ㊼厚木市市民会館大ホールにて、
 ㊽厚木市市民会館大ホールにて、
 ㊾厚木市市民会館大ホールにて、
 ㊿厚木市市民会館大ホールにて、

この展示会とおして「地域の中に入って交流すること」が大切なことを学びました。(平井洋子)



相互理解深める 共産党県議団と懇談

相互理解深める 共産党県議団と懇談 = 県高齢社会課に要望 =
7月16日、日本共産党県議員団(6人)と県本部で数年ぶりの懇談。井坂团长、土志田委員長など参加者はともにフルメンバ。相互理解を深めました。写真左24日には、県健康福祉局高齢社会課と、困窮高齢者、特に住宅問題で申し入れ懇談しました。

世の中にこんな団体 こんな人たちがいる

ある日、家賃減免の「年金者組合」のチラシが入っていました。どんな人があることを知った私は、親しいな団体か知りませんでした。今までは毎月3万4000円の家賃を払ってききましたが、生活が苦しく、少しでも安くなればとすぐ電話をしようと、2人の役員の方がたずねて来てくれました。私の暮らし向きを聞いていただき、減免手続きのやり方を詳しく教えていただきました。後日、書類を用意して手続きしたら、なんと2万4000円もの大幅減免となりました。その通知が来たときは信じられないうれしく思いました。

あなたはよぶんな保険料を払っていませんか？
 年金の目減りを補てん出来る可能性があります
加入者の立場でつくられた 全労連・自動車共済 お見積りをさせていただきます！
 加入する・しないに関わらず、見積りには500円のクオカード進呈
 各支部への出張見積り会・FAX見積りも受け付けています
お見積り・資料請求は 神奈川労連 共済担当 永田まで
 TEL:045-212-5855 FAX:045-212-5745
 携帯:090-5197-6748

長谷川径弘の 神奈川の地酒今昔 第12回

津久井湖南岸中野の「神泉 巖乃泉」(清酒造)は、創業宝暦元年で現存蔵元の中で最古。道筋に「県下3軒だけ」の味噌醸造元が25年前ありました。酒名は聖書「モーゼの杖から湧水」から。地粉「うどん」には糞まで食べた天明飢饉

相模灘 SAGAMINADA

「土平治一揆」が重なり、地先には尾崎行雄記念館もある土地柄で

「相模灘」(久保田酒造)は創業弘化元年、ここも老舗。大きな門の銅ぶき屋根の本家に並び、杉木立を背に仕

「相模灘」(久保田酒造)は創業弘化元年、ここも老舗。大きな門の銅ぶき屋根の本家に並び、杉木立を背に仕

県北に「巖乃泉」と「相模灘」

JR橋本駅から西へ、アーチ形「小倉橋」を渡り、串川沿いの谷間をくねくね。根小屋の「相模灘」(久保田酒造)は創業弘化元年、ここも老舗。大きな門の銅ぶき屋根の本家に並び、杉木立を背に仕

神奈川年金者文芸 (俳句)

鎮魂を肝に非武装沖縄忌 愛川支部 廣井 瑞枝
 微風や三日晴れ間の山法師 愛川支部 中村 善人
 だらだらと味気無き日や夏の風邪 平塚支部 坪井 絵奈
 単線の車窓に梅雨の夕映えて 平塚支部 寺田 公明
 百合の花笑顔で母の待ち受けをり 逗葉支部 中馬さゆき
 梅雨寒し呑み屋を横に家路かな 逗葉支部 長谷川幸生
 月下美人ほどの睫毛を妻も持つ 逗葉支部 四海 良道

片陰を少しゆずりてバスを待つ 三浦支部 佐藤 保子
 板前の威勢よき声梅雨晴間 三浦支部 杉山 圭子
 海開きあけた途端に雨続き 三浦支部 相川 光代
 (川柳)
 埋め立ては中華の国に頼むべし 愛川支部 衛藤 佳也
 持たされる熱症除けの魔法瓶 愛川支部 田邊 弘己
 その一票統持つ決める十八才 旭支部 毛利やすひこ
 刺がしたぞ安倍一族の化けの皮 秦野支部 義 雄